

12月定例会

例

会

條
例

補
正
予
算

する証明を追加規定しました。
いずれも、使用料を利用料

に改め、指定管理者が行う業
務の範囲を定めました。

一般会計補正予算(第5号)

公益法人等への伊達市職
員の派遣等に関する条例
の一
部
改
正

新「会社法」の施行に伴い、
「有限会社法」が廃止された
ため、条例中から「有限会社」
の文言を削除しました。

介護保険法の改正に伴い、
使用料及び手数料の算定方法
に介護予防サービス事業を追
加しました。

訪問看護手数料条例の一
部
改
正

市立保育所設置条例の一
部
改
正

ゼロ歳児保育待機者の解消
を図るため保原保育園に分園
を設けることとしました。

排出する下水の亜鉛及びそ
の化合物の基準を、1リット
ル当たり5ミリグラムから2
ミリグラムへと規制を厳しく
しました。

手数料条例の一
部
改
正

手数料を徴収しない事務及
び手数料を免除する戸籍に關

靈山こどもの村条例の一
部
改
正

介護保険法の改正に伴い、
手数料の算定方法に「指定介
護予防サービスに要する費用
の額の算定に関する基準」を
追加しました。



保原町字西町に新設した保原保育園分園

歳入歳出	それぞれ2億36 23万円を増額し、予算総額 248億8218万円としま した。歳出のうち増額した主 なものは、財産管理費642 万円、障がい者福祉費131 5万円、塵芥処理費3億32 37万円、病院費1000万 円、農地費1216万円、道 路維持費2312万円、小学 校管理費2187万円、幼稚 園管理費822万円などで、 これらの財源は、地方交付税 国県支出金等を増額し財政調 整基金で調整しました。
------	--

平成18年第9回定期会は、12月5日に招集され18日まで14日間の日程で開催されました。市長から提出された案件は、条例8件、補正予算11件、人事案件2件、その他3件でした。ほかに議員発議1件の計25件の審議を行いました。これらの案件は、概ね所管の常任委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、16人の議員が質問に立ち市当局の考え方を質しました。

